生涯学習関連施設 業務評価シート

地域学習センター　　施設名/足立区花畑地域学習センター・図書館・体育館

【評価対象年度】令和7年度　【自己評価】令和8年4月1日　【評価委員会】令和8年8月17日
【評価点】水準を大きく上回る：5点　水準を上回る：4点　水準どおり(水準クリア)：3点
水準を下回る：2点　水準を大きく下回る：1点

大項目	中項目	確認項目		評価点×2		
		協定や事業計画に沿って適切に管理が行われているか(評価点×2)		指定管理者	担当課	評価委員会
1 管理状況	A 適切な管理の履行	1	施設運営業務等が適正に実施されている ◆計画どおりの開館、利用者対応、予約受付　など	5.0 (×2)	5.0 (×2)	21.6 (満点30点)
		2	職員の勤務状況・体制が適切である ◆適正な人員配置　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		3	人材育成の取り組み（意識、接遇の向上） ◆定期的な業務実施手順見直し、研修の実施　など	3.0 (×2)	3.0 (×2)	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】令和7年度より施設・講座・チケットの新システムが導入されたため、各スタッフの理解が深まるように個別指導の他、全体研修も複数回実施した。特に施設予約システムでは、「施設使用料減額・免除申請」「体育館個人利用設定」などの作業フローが旧システムから操作・運用が変わったため、センター独自で細かく手順書に落とし込んで作成・運用を行った。遅番などの限られた勤務を行うスタッフの理解も高まり、効率も上がっている。			
			【改善すべき点･課題等】システムについては各自の理解が深まってきているが、年間を通して運用できている訳ではないので、今後も戸惑うことが多々あると感じる。不明な点を皆で共有し、知識を結集することで対応できる体制を整えていきたい。団体よりセンターホール展示の依頼を受けたが、ダブルブッキングしてしまった日があったため、管理簿作成と個別の受付票を作成して再発防止の対応を取っている。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、令和7年度より導入された施設予約システムに対し、正確なやり取りを補助するため、センター独自の手順書を作成した取り組みを評価して水準点に2点加点する。また、ロビー展示において予約が重複した件について、展示日の調整により両者の納得を得られた点や管理簿作成など再発防止策を講じ、その後同様のミスは発生していないことから減点はしない。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】新しいシステムに対して、施設独自での手順書作成によりミスを防ぐなど、取り組みを評価する。 【改善すべき点】展示のブッキングや講座の当日中止など管理上のミスが生じており、確認手順の徹底を求めたい。 【その他注意点】			
	B 安全性の確保	**施設の安全性は確保されているか**		評価点 指定管理者	担当課	評価委員会
		1	施設・設備の点検が計画通り行われ、不具合等に適切に対応している ◆日常点検、定期点検の実施、不具合発生時の対応　など	3.0	3.0	15.0 (満点20点)
		2	施設・設備の経年劣化に対応している ◆設備状況の把握、改修・修繕提案　など	3.0	3.0	
		3	利用者が快適に利用できるよう、施設の管理が適切に行われている ◆日常清掃、定期清掃の実施、外溝・駐車場の管理　など	5.0	4.0	
		4	危機管理（防災・防犯・事故対応）が適切に行われている ◆防火管理者、防火管理計画、防災訓練の実施、鍵の適正管理 マニュアルの策定と周知　など	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】東京都カスタマーハラスメント防止条例が施行されたことをきっかけに、利用者および総合受付窓口の双方の安全を担保するため、総合受付窓口に防犯カメラを設置した。消防避難訓練では車いす利用者、視覚障がい者がいる想定で、どこから避難すべきかをアナウンスせずに訓練を行うなど難度を上げて臨んでいる。また、向かいの特別養護老人ホームと合同で避難訓練を行うなど、万が一の有事の際に互いに協力できる関係構築を進めている。敷地内歩道とその付近の車道にカラスによる糞害が発生しており、利用者の中に不安を感じている方がいる。その対策として関係各所へ連絡を取り、カラス対策を進めている。			
			【改善すべき点･課題等】日頃より設備の維持管理については気を配り運営を継続しているが、令和7年度も経年劣化による空調機関連の不具合が相次いでいる。重大な事案とならないように担当課と連絡・相談を欠かさず進めていきたい。			
		区記入欄	【特記事項】施設設備点検や経年劣化への対応は、水準どおり適切に実施している。項目3について、関係各所に連絡し施設周辺のカラスによる糞害への対策を進めた。近隣住民の要望に応えた点を評価し、水準点に1点加点する。項目4について、受付体制の安全性強化のため総合受付に防犯カメラを設置した。利用者及び職員の安全性向上に努めたとして水準点に2点の加点とする。また、様々な避難を想定した訓練を実施し、近隣の施設と連携して災害時の対応強化に努めている点に関しても評価する。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】特別養護老人ホームとの合同避難訓練は、相互に共助・補完の関係をつくり課題を発見できたということで評価したい。また利用者及び職員の安全性向上を理由に防犯カメラを設置し、利用者及び職員の安全性向上に努めた点も評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

				評価点		
C 法令等の遵守（※倫理性も含む）	**個人情報保護､各種法令等は遵守されているか**			指定管理者	担当課	評価委員
		1	個人情報保護の取り組み ◆内部規定の策定、研修の実施　など	5.0	5.0	12.6 （満点15点）
		2	個人情報事故への対応、適正管理 ◆個人情報に関する事故が発生しなかったか	3.0	3.0	
		3	各種法令等の遵守 ◆労働基準法、公契約条例等の関係法令は遵守されているか	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄		【アピールポイント】令和7年度も個人情報の漏えいに当たる案件は無いが、万が一を想定し、担当課への訪問等で館内外へ個人情報を持ち出す際に個人情報を含む書類に小型発信機を取り付け、タブレット端末で位置情報を確認できるようにしている。また、各種法令遵守についての対策として、職場での熱中症対策が義務化されたことをきっかけに空調服を調達した。夏季の屋外作業に従事する際は使用するようにしたことで、昨夏より安心安全に活動ができている。個人情報保護およびコンプライアンスについての研修、確認テストは例年通り実施している。			
			【改善すべき点･課題等】個人情報の取り扱いについては、日ごろから窓口等で各スタッフが注意しあって対応している。今後も研修・教育、互いに注意喚起を促すことでその意識を高く保っていきたい。課題として昨今、AIが気軽に活用できる時代になり、その利便性は感じている。気軽であるが故に、他人の権利などを侵害する可能性が高まっているようにも感じるので、施設内での使用ルールなどを作るなどして法令遵守に努めていきたい。			
	区記入欄		【特記事項】項目1について、個人情報書類を持ち運ぶ際に位置情報が把握できる小型発信機を導入した。個人情報を保護する取り組みではないものの、同一の指定管理者が運営する施設へ波及した点を踏まえ、水準点に2点の加点とする。項目3について、労働安全衛生規則の改正により業務中の熱中症対策が義務化されたことに伴い、夏季の館外作業の際に着用する空調服を導入した。規則遵守につながった他、職員の安全も守ることができたとして水準点に2点加点する。			
	評価委員記入欄		【評価すべき点】発信機を活用した個人情報持ち出し管理を考案して他センターへ波及させたほか、空調服による職員の熱中症対策など法令改正への対応も早く行っている点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			
D 適切な財務・財産管理	**適切な財務運営・財産管理が行われているか**			指定管理者	担当課	評価委員
		1	適正な財政状況及び経理処理を行っている ◆令和7年度収支　(6,003千円) ◆経理の明確な区分、経理担当者の配置、帳簿、関係書類の整備　など	3.0	3.0	3.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄		【アピールポイント】講座立ち上げ時から参加者のすそ野を広げる意味で割引設定している講座があるが、割引が利用者のニーズに合致しているか検証を行った。その結果、一部の講座で活用が無かったため、新システム稼働に合わせて割引を無くしてクレジットカード決済ができるように対応している。窓口対応での受付は少なくなり、クレジットカードでの支払いに移行している方が増えた。自主事業の実施など事業収支も安定している。			
			【改善すべき点･課題等】施設還付ミス無く安定しているが、そのような時こそ油断が起きないように日々の研修を通して、窓口での応対に取り組んでいく。			
	区記入欄		【特記事項】予算の計画および執行が適切になされている。また、新システムではクレジットカード決済を取り入れる場合、割引など料金設定を多様化できない仕様となっている。その中で、既存事業の利用者ニーズを調査することでクレジットカード決済可能な事業を増やした取り組みを評価する。			
	評価委員記入欄		【評価すべき点】適切に行われている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

大項目	中項目	確認項目				
2 事業効果	A 学習事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った学習事業が提供されているか**		評価点		
				指定管理者	担当課	評価委員
		1	利用促進に向けた取り組み（広報・PR等） ◆ホームページ、ＳＮＳ、ミニコミ紙の充実、外部媒体の活用 など	5.0	5.0	19.8 （満点20点）
		2	A型事業（基本的な生涯学習事業）の企画・実施・成果 ◆Ａ型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		3	B型事業（重点事業）の企画・実施・成果 ◆B型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		4	C型事業（拡張事業）の企画・実施・成果 ◆C型事業の企画・実施・成果	5.0	5.0	
		指定管理者記入欄	【アピールポイント】広報ではSNSでの情報発信を強化した。特にX（旧Twitter）では、プレミアム機能を活用してイベントのライブ放映を行い、当日中に参加者が増加するようリアルタイムでの周知に努めた。映像関連では、2月にぱく増し料理を調理してYouTubeで公開する取り組みなどを行った。また、センターキャラクターを作成し、選挙形式で投票してもらい決定した。現在はミニコミ紙に使用しているが、次年度に活躍させていく。夏休みには子ども向けの講座として溶接工作体験講座や古墳時代のミニチュア鏡作りなど、休みの期間だからこそできる体験を幅広く展開した。講座運営の見直しも積極的に行っており、その一つとして親子で参加できる料理教室の拡充を図っている。スイーツのような見映えも良い楽しい内容だけでなく、食育・食品ロスといった区の施策に関わる内容も取り入れて開催しており、料理教室参加者数は倍以上に増加した。ステップアップ事業としては、高齢者向けのスマホ相談会を「1回30分、1名」という受付枠で実施した。講師に気になることを気兼ねなく聴けると好評を博している。			
			【改善すべき点･課題等】通年講座にて講師との日程の申し送りで齟齬があり、急遽中止となった日があった。休館日、祝日等で不規則な日程になる際には、担当に日々のスケジュールを確認することを改めて徹底する。次年度は大規模改修工事を控えており新規事業を企画しづらい状況にあるが、開館・休館限らず単発はもちろん短期開催で展開できるように工夫して臨んでいきたい。			
		区記入欄	【特記事項】項目1について、センターマスコットを作成のうえ、区の選挙管理委員会と連携し、実際の投票箱を用いたセンターマスコットの人気投票および選定を行った。地域の選挙への関心醸成に貢献した点や地域に愛されるマスコットを選出した点を評価し、水準点に2点加点とする。項目2について、親子で参加できる料理教室の拡充を図っている。スイーツのような見映えも良い楽しい内容だけでなく食育、食品ロスなど区の施策にも関わる内容も取り入れて開催しており、料理教室参加者数も倍以上に増加した点を評価し、水準点に2点加点する。一方、講師への休講日案内を誤り、当日利用者が集まったにも関わらず、講師不在のため、急遽講座開催中止になってしまった事案が発生した。選挙により施設休館日が変更するなどの事情を考慮し、減点はしない。項目3について、夏休み無料体験事業「あだちワークわーく in Summer」において、溶接工作体験講座や古墳時代のミニチュア鏡作りなど、独自性に富んだ事業を幅広く展開し、また講座運営の見直しも積極的に行った。多種多様な内容の体験講座を開催し、子どもたちに体験機会を提供した点を評価し、水準点に2点加点する。項目4について既存事業であった「シニア向けスマートフォン講座」から更に深い学習機会を提供するために、シニア向けのスマートフォンに関する個別相談会を実施した。個別に相談できる環境を整えることでより柔軟に利用者に学びの機会を提供し、また地域全体のデジタルギャップ解消に貢献したとして水準点に2点の加点とする。			
		評価委員記入欄	【評価すべき点】ふれあいまつりにおけるライブ中継やセンターキャラクターの選定など、広報における創意工夫を評価する。また事業について、溶接体験など独自性のある事業を数多く実施している点も評価できる。スマートフォン個別相談会は高齢者の段階的な学びの受け皿として機能している。 【改善すべき点】親子料理教室は好評だが初受講者7割の目標には達しておらず，新規参加者の獲得に向けた工夫を期待したい。 【その他注意点】			

			評価点		
B 学習支援の取り組み	**施設・地域特性に配慮し、適切な学習支援を行っているか**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	生涯学習コーディネート、サークルや個人利用者への支援の実施・成果 ◆学習相談、支援事業の実施、発表の場の提供・拡充　など	5.0	5.0	15.0 （満点15点）
	2	区内施設、団体との連携 ◆地域団体、区内施設との連携　など	5.0	5.0	
	3	地域特性の配慮、人材の活用 ◆区内人材活用、地域資源の発掘、ボランティア活用　など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】養蜂事業者と子ども食堂と連携して採れたはちみつの活用を目的とした取り組みをセンターが主導して実施したり、生活介護事業所と連携してともに植物を育成して、その葉を活用した叩き染めを行ったりした。このような取り組みをきっかけに互いに声を掛けやすい関係が強くなっており、アウトリーチの依頼を受け登録団体発表のコーディネートを進めることが増加、センターのふれあいまつりにも和太鼓の演奏をお願いして、お互いに地域を盛り上げることができた。その登録団体では令和7年度も支援講座に力を入れ、これまで未活用であった団体にも声を掛けて実施し、会員数増に繋げることができている。また、区内在学の近隣中学生のピアノコンサートを行いたい旨の相談を受け、センターにて実施した。普段施設を利用する機会が少ない方、初めて利用する方も来場し、人があふれることもあった。その他にも令和6年度に引き続き子ども達が仮装してごみ拾いして練り歩く「クリーンパレード」を関係各所と連携して開催、地域の有志機関で取り組む「ジェルフラワープロジェクト」にも賛同し、作成した作品をセンター内に展示するなど地域の連携を深めている。			
		【改善すべき点･課題等】休館中の登録団体の地域活動は、連携している地域の施設を中心に継続的に活動できるよう考えていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について近隣施設と連携したふれあいまつりの開催により、普段センターを利用しない地域住民へのセンター周知に努めたほか、ふれあいまつりにおいて新たな協力団体との関係性を築くなど、地域との交流をより深めることができた点を評価し、水準点に2点加点する。項目2について、地域の有志機関で取り組む「ジェルフラワープロジェクト」に賛同し、センターでも関連ワークショップを開催したほか、作品の展示によりプロジェクトの周知活動を行った。近隣施設のプロジェクトに協力したという点で更なる地域連携の発展へ繋げただけでなく、センター利用者への地域情報発信にも貢献している点で水準点に2点を加点する。項目3について、区内在学の近隣中学生のピアノコンサートをセンターにて実施し、普段施設を利用する機会が少ない方、初めて利用する方を呼び込み、来館者の増加に繋げた。区民からの問い合わせに柔軟に対応し、学習の成果発表の場を設けただけでなく、近隣住民に音楽鑑賞の機会を提供した点を評価し、水準点に2点を加点する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】地域の子ども食堂や養蜂団体など、地域の人材・資源を生かした事業が定着しつつある。大規模改修期間においても登録団体の発表の場を外部へ広げる支援も進められている点を評価する。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

			評価点		
C 図書館事業の取り組み	**仕様書や事業計画に沿った図書館事業が提供されているか**		指定管理者	担当課	評価委員
	1	図書館の館内配置の工夫やPR活動の企画・実施・成果 ◆館内配置の工夫、レファレンスサービスの企画・実施・成果　など	5.0	5.0	10.0 （満点10点）
	2	読書推進活動の企画・実施・成果 ◆読書推進活動、連携事業の企画・実施・成果　など	5.0	5.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】令和7年度は、改修工事による休館を見据え、読書推進・地域連携・館内整備の三つを重点に取り組んだ。なかでも、休館中も図書館サービスを継続できる体制づくりを意識し、地域連携により大きな比重を置いた一年となった。花畑団地「なごみ」や「スマイル広場」での出張図書館を継続したほか、文教大学との展示協力やワークショップ、あかしあ園への本棚設置など、地域の教育・福祉機関との協働を広げることができた。 読書推進では、大人向け「音読会」、ティーンズ向けに「テーマ対抗！ブックバトル」、児童向け通年イベントや読書通帳、夏休み事業の「科学実験教室＆自由研究相談会」など、世代に応じた参加型企画を展開し、「あなたの本棚」も好評を得た。館内では、改修工事に向けた書架整理を進めるとともに、指定席制の導入により席に関するクレームが減少するなど、利用環境の改善にも成果が見られた。			
		【改善すべき点･課題等】空調機器故障により、7月に臨時休館、11月～2月に児童コーナーの暖房が止まった。次年度は施設改修工事で8月までの開館となるが、適切に施設管理を行い居心地よい図書館空間を維持する。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、コンセント付き閲覧席の指定席制導入により、公平な利用環境の整備を図っている。また、中学校との連携展示や「あなたの本棚」により、目標を上回る投票数や貸出増を達成していることから2点の加点とする。項目2について、「音読会」や読書通帳を活用したイベント、大学との連携、地域拠点への出張図書館の実施を通じ、高齢者や児童をはじめとした幅広い世代の来館促進と読書推進に取り組んでいる点を評価し、水準点に2点の加点とする。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】閲覧席の指定席制やカスハラ対策により困難な利用環境の改善に取り組みながらも、ブックバトルや「あなたの本棚」など多彩な取り組みを行っている。特に「あなたの本棚」については高校生との対決形式とすることで、図書への興味や認知度を上げる企画であり、評価できる。その他、読書通帳の活用、団地集会所への毎月の出張図書館など利用促進事業が幅広く展開されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

D 利用の状況	**適切な利用状況となっているか （環境の変化など外部要因を考慮）**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
		1 学習施設・体育館等の利用状況が基準を達成している ◆利用率の基準値超 利用率基準値/学習施設38%、体育館88% ＜参考＞学習施設目標値　45.9%（前年度利用率＋3%）	4.0	4.0	6.2 （満点10点）
		2 図書館の利用者数及び貸出冊数が基準を達成している ◆利用者数・貸出冊数の基準値超 利用人数（195,257人）　※基準値/211,067人 貸出冊数（159,257冊）　※基準値/160,640冊	2.0	2.0	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】 （センター）通年講座の見直しによる講座開催数を増加、夏季休業期間の定例講座開催、イベント複数開催など全体的に施設を活用した。また、選挙などの外部要因もあるが、使用できなくなった利用者には、可能な限り代替施設を調整している。 （図書館）保育園や福祉施設への訪問により、ニーズをくみ取り貸出を行うことで、団体向け貸出数は昨年度に続き増加している。			
		【改善すべき点･課題等】 （センター）季節の節目で使用頻度が低下することが多いので、事業実施や取り組みなどを検討していきたい。 （図書館）個人向け貸出が回復するよう買替作業や書架の見直しにより、綺麗な資料が見やすく並んでいる書架づくりを行っていく。			
	区記入欄	【特記事項】項目1について、学習施設での図書事業の実施やその他新規事業の実施など多様な取り組みにより、令和6年度と比べ利用率は1.9%ほど上がっているものの、目標値である46%には達していないため、水準点に1点の加点とする。事業だけでなく学習施設の基本的な利用方法についても対外的周知を積極的に行い、新たな活動団体の誘致に取り組むことを期待する。項目2について、利用人数・貸出冊数共に令和6年度は基準値に達したが、令和7年度は利用者トラブルや空調機の故障等が原因となり基準値に達さなかったため、水準点より2点減点する。一方で、貸出冊数前年度比増加率が加点基準を達成したため、1点の加点とし、減点と合わせて2点の評価とする			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】学習施設・体育館の利用率は基準値を上回り、学習施設は前年度からも向上している。 【改善すべき点】空調の問題や、利用者によるトラブルが複数回発生し現在も継続的に館内環境へ影響が生じている点など要因は考えられるものの、利用人数、貸出冊数は基準に達しなかった。改修工事期間も見据え、改善に向けて取り組んでほしい。 【その他注意点】			
E　3分野連携事業	**3分野連携事業を計画通り実施しているか**		評価点		
			指定管理者	担当課	評価委員
		1 3分野連携事業が適正に実施されている ◆「関心喚起」「行動生起」「習慣化」の3種のプログラムの実施 ◆動機づけのための情報発信（プッシュ型情報発信）をしているか　など	5.0	5.0	5.0 （満点5点）
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】近隣の花畑公園・桜花亭や桑袋ビオトープ公園とは例年通り連携して事業を実施した。その他にも3分野連携事業開催のため、新たな講師陣に協働いただくことで、これまで開催できなかったコンテンポラリーダンスやカヌー体験、スイーツ作り、立版古（たてばんこ）などの新規事業を数多く実施することができ、満足度の高い声をいただいた。また、情報発信についてもLINE以外のSNSでも積極的に発信を行い、令和6年度よりも倍以上の発信頻度を達成することができた。効果として、参加者数は令和6年度から1.5倍程度まで増えており、効果は得られたと感じている。			
		【改善すべき点･課題等】次年度は任意期間も含めて、計画的に事業を展開していきたい。			
	区記入欄	【特記事項】新たな講師陣と協働して、学習施設だからこそできる事業に挑戦するなど、精力的に3分野連携事業に取り組んだことを評価する。広報についても当日参加の事業については空き状況をリアルタイムで発信するなど、事業に人を広く呼び込むことに努めたとして、取り組みおよび成果を総合的に判断し、水準点に2点加点する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】カヌー体験やブックトーク付き料理教室など近隣の環境を活用することで図書館利用者に文化への関心を持たせるよう努めている点を評価する。特に料理教室では実際に参加者に調理に対する関心を持つ者がいたことも評価できる。LINE等による情報配信も大幅に強化されている。 【改善すべき点】 【その他注意点】			

F　主要事業の企画・実施・成果	**5カ年計画どおりに事業を実施し、計画通りの成果があったか（評価点×3）**		評価点×3		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	主要事業の実施 ◆アプローチ方法が効果的であるか			25. 8 （満点30点）
	2	主要事業の成果 ◆当該年度の達成目標を達成しているか			
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】主要事業プレイベントとして「はなはたフェスティバル」を令和6年度に引き続き開催した。イベント内のダンスイベントは会場を体育館に設定、照明や音響を入れて規模も大きく、本番を意識した形で開催した。令和6年度開催時より参加者は倍に増加した。地域の自然環境を整える「お花いっぱいプロジェクト」では、近隣の生活介護事業所と連携して藍の葉（花）を共に育成させて、育った葉を活用して叩き染め制作を行った。養蜂関連では、地域で養蜂活動をしている東京足立病院と連携している。この活動で採れたハチミツを活用して、センターを会場として活動している子ども食堂でカステラを調理して利用者に召し上がっていただいた。合わせて養蜂活動の活動写真を展示して、自然（環境）の恵みや食育面の学びを感じていただける会にした。年々、個別の取り組みも中身が充実してきている。これらを融合させ、多くの方に感動いただけるようにスタッフ一丸で取り組んでいく。			
		【改善すべき点･課題等】自然を考慮しながら実施している事業も多々あるため、夏季の暑さは大変厳しかった。スタッフの健康管理を含めて植栽の維持管理は大変であった。次年度は大規模改修工事を控えているが、各事業が停滞しないよう、計画的に進めていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】「自然」や「歴史」「養蜂」など、近隣施設や関係団体と連絡調整を行い、指定管理期間最終年度のイベントを成功するためにそれぞれの分野で質の高い事業を展開している。令和8年度は年度途中より大規模改修工事に入るが、主要事業の最終目標を達成するため、アウトリーチ事業等計画の着実な実施を期待する。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】養蜂・花・歴史の各アプローチが講座や連携先と有機的につながり、プレイベント「はなはたフェスティバル」は873名と令和6年度から倍増した。指定管理期間を通した最終的なビジョンである5縁の場づくりと最終的な主要事業であるハニカムフェスへの流れが繋がっていると思われる。 【改善すべき点】 【その他注意点】令和8年度からの大規模改修期間は館外活動が中心となるため、連携先と協働した活動計画の具体化を期待したい。			
G 利用者の満足度（評価点はアンケート調査による）	**利用者の満足を得られているか（評価点×2）**		評価点×2		
			指定管理者	担当課	評価委員
	1	運営満足度 ◆職員の接客態度、説明や事務処理の的確さ		4. 2（×2）	32. 8 （満点40点）
	2	施設維持満足度 ◆施設の清潔さ、使いやすさ、館内表示　など		4. 6（×2）	
	3	事業満足度 ◆事業内容の充実、ミニコミ紙　など		4. 0（×2）	
	4	利用効果 ◆センターでの活動効果、意欲の向上　など		3. 6（×2）	
	指定管理者記入欄	【アピールポイント】あだち広報は講座情報を案内するにはとても重宝するツールであるが、月によっては掲載が限定的になることがあったので、令和6年度よりホームページをより見やすいように編集することを心掛けた。結果として講座情報を参考にしていただく方の人数は増えている。ソーシャルメディアでの情報発信はより必要になってくるので、活用の強化を図っていきたい。			
		【改善すべき点･課題等】令和6年度よりも取得数が若干減少している。接客対応、清潔、館内表示についての設問で「不満」に大きく振れることは無かったが、「満足」の評価が「やや満足」に移行している箇所が増えている。同じ方からアンケートを取得している訳ではないが、多くは定期的に活動している利用者であるという結果を受け止め、快適にご利用いただけるよう努めていきたい。			
	区記入欄	【特記事項】学習センター・図書館ともに職員の接客、施設の清潔さ、館内表示や案内の質問項目の満足度は高いが、令和6年度と比べ全ての項目に関して点数は微減している。市場調査や講座受講者アンケート等から利用者のニーズを把握し、よりよい指定管理業務に努めてほしい。			
	評価委員記入欄	【評価すべき点】職員の接客や施設の清潔さなど、高い満足度となっている。図書館ではスタッフ対応に満足の回答が8割を超えている。 【改善すべき点】アンケートの点数が微減した背景には、回答数の減少も関係していると思われるので、令和8年度はアンケート回答を促す工夫をしてほしい。 【その他注意点】図書館では閲覧席のマナーや問題のある利用者に関する声が複数あり、職員の負担も含め区と連携した対応の継続を求めたい。体育館の空調運用に関する意見も注意してほしい。			
合計点			110. 0 （満点130点）	141. 8 （満点=170点）	166. 8 （満点=200点）

特記事項（評価委員会による総合評価を記入）	5カ年計画の中間年度として、独自性あふれる事業を数多く実施しており、地域連携、サークル支援、アウトリーチワークショップを通じて地域と交流が深まり、プレイベントの参加者も倍増するなど順調に進展している。引き続き地域の学びの場として活躍してほしい。図書館は空調機器の故障など困難な環境の中で、指定席制やカスハラ対策、出張図書館の拡充など意欲的に取り組んでいるが、利用者数・貸出冊数は基準未達となった。令和8年度からの大規模改修を見据え、館外での利用維持策と利用回復の取り組みを期待したい。

【評価委員会評価結果】

評価委員会評価結果	得点	評価	⇒	ﾗﾝｸﾀﾞｳﾝ	⇒	総合評価
	166	A−		有・(無)		A−

※評価結果は評価委員会が行う。
※小数点以下は切り捨て、整数とする。

【指定管理者への改善要望】
2-D項目2における減点事項について、空調機器の故障などの要因はあるものの、来館者数・貸出冊数ともに基準値を下回った。団体貸出の増加やアウトリーチ拡大など利用機会確保の努力は認められるが、利用状況回復のためのより一層の取り組みを求める。

<評価委員会評価基準>

評点		評価基準						
満点	標準点	75%以上			～			54%以下
		A＋	A	A－	B＋	B	B－	C
200点	120点	180点以上	167点以上 179点以下	150点以上 166点以下	134点以上 149点以下	119点以上 133点以下	109点以上 118点以下	108点以下
得点率		90%以上	～	83%以下	67%以上	～	59%以下	54%以下

※「標準点」･･･評価項目が全て「3」（水準クリア）の評価を受けた場合の得点。
※「A」は満点の0.75倍以上（小数点以下切上）、「C」は満点の0.54倍以下（小数点以下切捨）とする。